



Topic 01 地元で農業に携わりたい思いから

佐藤大介さんは、佐渡市出身。高校卒業後は新潟の農業大学校で学び、地元に戻って佐渡農業協同組合（JA佐渡）の営農指導員として働いています。佐藤さんがこの職業を選んだ理由は、「地元に戻り、佐渡の農業に貢献したい」という思いからでした。「佐渡にはたくさんの田んぼがあって、農業が盛んです。地元に戻ったら農業に関わる仕事をしたいと考えていました」と語ります。



Topic 02 農家さんとの関わり

佐藤さんが仕事の中で最も楽しいと感じるのは、農家さんと直接関わりながら、収穫量や品質向上のための助言を行うことです。春の田植えから秋の稲刈りまで、農家さんの現場に足を運び、肥料や作業方法のアドバイスをを行います。

「農家さんに『佐藤さんの言う通りにやったら今年は出来が良かった』などと言ってもらえると、とてもやりがいを感じます」と笑顔で話します。

Topic 04 チームワークと人とのつながり

佐藤さんは、仕事をする上で「農家さんの気持ちを考え、頼ってもらった以上に応えられる仕事をする」ことを大切にしています。また、職場でのチームワークを重視し、普段から先輩や上司と相談し合うことで、信頼関係を築いています。

「日頃から悩んだことはなんでも相談するようにしています。そうすると相談しやすい空気が生まれ、チームワークも自然に良くなります」と話します。

Topic 06 高校生へメッセージ

佐藤さんの仕事の魅力は、毎日食べるお米に関わることができることです。「『普段何気なく食べているお米が、たくさんの苦労と工夫で作られている』と実感できるのは、この仕事ならではの喜びです。また、将来、佐渡で農業に関わる人が増えたらうれしい」と話してくれました。



Topic 03 大変なことも、成長につながる

一方で、農家さんの期待に100%応えられないこともあり、悔しい思いをすることもあるそうです。しかし、困難な状況に直面したときは、職場の先輩や上司に相談しながら解決策を見つけています。

「JAの仕事は一人で行うものではないので、困ったときは周りの知恵を借りて乗り越えてきました」と語ります。

Topic 05 私生活との両立

プライベートの時間もしっかりと確保しています。土日は休みで、春や秋の繁忙期以外は残業も少なめです。趣味は写真撮影やドライブで、佐渡の美しい海沿いを巡るのが楽しみだそうです。

投票は公式LINEから



佐渡農業協同組合
のHP

